

---

**スポーツ庁委託事業  
令和3年度スポーツキャリアサポート支援事業における  
カンファレンス運営業務**

**報告書**

**2022年3月18日**

---

**Athlete Career Challenge カンファレンス2022**  
アスリートのCX（キャリアトランスフォーメーション）への挑戦が切り拓く未来  
～アスリートが社会全体の活性化の推進者として活躍する社会へ～

# 開催概要

# 開催概要

## 実施目的

- スポーツ庁「スポーツキャリアサポート支援」事業 並びにスポーツキャリアサポートコンソーシアムのコンセプトを発信
- 育成したアスリートキャリアコーディネーターの主旨と今後の展望について発信
- アスリートの人材価値を社会に広く発信

## 実施概要

- イベント名 : スポーツ庁委託「スポーツキャリアサポート支援」事業  
Athlete Career Challengeカンファレンス 2022  
アスリートのCX（キャリアトランスフォーメーション）への挑戦が切り拓く未来  
～アスリートが社会全体の活性化の推進者として活躍する社会へ～
- 主催 : スポーツキャリアサポートコンソーシアム
- 企画 : スポーツキャリアサポートコンソーシアム運営委員会
- 運営 : 株式会社フューチャー・デザイン・ラボ  
(スポーツ庁令和3年度「スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営」受託事業者)  
株式会社MPandC
- 開催日時 : 2022年3月12日(土) 13:00~16:00  
※プレス受付開始: 12:30~
- 参加方法 : ライブ配信によるオンライン開催(登壇者・関係者のみ会場)
- ライブ会場 : 赤坂インターシティコンファレンス(東京都港区赤坂1丁目8-1)
- 対象・人数 : 一般申し込み(zoom、もしくはYouTubeでの視聴)

# 構成

## 進行構成（午後の部）

	時間	LAP	プログラム	登壇者
1	13:00	1	開会	司会
2	13:01	5	スポーツ庁 事業説明	室伏 広治 氏（スポーツ庁長官）
3	13:06	10	SCSC 方針発表	高橋会長 久木留副会長 星野副会長 藤原副会長
4	13:16	8	質疑応答	
5	13:24	6	フォトセッション	（休憩）
6	13:30	55	トークセッションI	モデレーター：1名 登壇者：4名
7	14:25	10	休憩	
8	14:35	40	トークセッションII	モデレーター：1名 登壇者：4名
9	15:15	2	入替	
10	15:17	40	トークセッションIII	モデレーター：1名 登壇者：4名
11	15:57	3	閉会挨拶	藤原副会長
12	16:00		終了	

# プログラム

## 開催趣旨

アスリートキャリアに関して、スポーツ内外の知見を共有し、スポーツ庁が推進するスポーツキャリアサポートコンソーシアムの取組を広く社会に発信し、事業の推進を図る。

## プレス発表「スポーツキャリアサポート支援事業について、SCSCの方針」



### 室伏 広治 氏

スポーツ庁長官  
2004年アテネ五輪金メダル・2012年ロンドン五輪銅メダル



### 高橋 義雄 氏

スポーツキャリアサポートコンソーシアム会長  
筑波大学体育系准教授

## トークセッション 1「アスリートが語るライフキャリアデザインの課題と提言」



モデレーター

### 外池 大亮 氏

(株)スカパー・ブロードキャスティング  
早稲田大学ア式蹴球部監督  
元Jリーグ



### 五郎丸 歩 氏

静岡ブルーレヴズ (株)  
クラブ・リレーションズ・オフィサー  
元ラグビー日本代表



### 久古 健太郎 氏

テロイト トーマツ コンサルティング合同会社  
元プロ野球選手



### 小野 真由美 氏

SOMPOケア (株)  
東京ヴェルディホッケーチーム監督  
元女子ホッケー日本代表



### 中西 麻耶 氏

(株) 阪急交通社所属アスリート  
(バレー陸上)



トークセッション 2・3 モデレーター

### 田中 研之輔 氏

法政大学キャリアデザイン学部教授  
一般社団法人プロティアン・キャリア協会 代表理事

## トークセッション 2「社会・企業で求められる人材とアスリート人材の可能性」

源田 泰之 氏 (ソフトバンク (株) コーポレート統括 人事本部 本部長)

丸山 武志 氏 (彦根市特別顧問、米原市シティアネージャー  
(所属：株式会社日本総合研究所))

松田 敏之 氏 (両備ホールディングス (株) 代表取締役社長)

高橋 竜太 氏 (S.H.N (株) 代表取締役社長)

## トークセッション 3「アスリートキャリアコーディネーターが語る 課題とアクションプラン」

大窪 航平 氏 (住友商事 (株))

田沼 泰輔 氏 (公益社団法人全国障害者雇用事業所協会 理事  
事業構想大学院大学特任教授)

小林 賢太郎 氏 (静岡県インラインスケート協会)

白鳥 歩 氏 (株式会社バソナグルーブアスリートコーチ  
日本体育大学バレーボール部ビーチバレーボールコーチ  
ビーチバレーボール 日本オリンピック委員会強化スタッフ)

# 記録写真

# 新型コロナウイルス感染症対策

- 新型コロナウイルス感染症対策として、会場に来場する関係者やメディアを事前に把握した。
- 来場者には事前にマスク着用のお願いをし、当日は手指消毒の徹底と検温を実施した。
- 当日は会場の換気、関係者を管理するためのパスの配布を行った。



- トークセッション時には登壇者間にパネルを置き、登壇者間で飛沫がかからないような対策を実施した。また、スライド送りのために使用するクリッカーを登壇者へ渡すときは、スタッフが除菌シートで拭いた上で次の発表者へお渡しした。
- 関係者席も間隔を1m以上開けることができるような配置に設定し、スタッフ全員のマスクの着用を徹底した。



# Athlete Career Challenge カンファレンス2022



# ACCカンファレンス トークセッション①





# ACCカンファレンス トークセッション③、閉会



フォトセッション中やトークセッションの合間に、昨年のカンファレンスでご登壇いただいた原監督より頂いた、「アスリートに向けたコメント」に関する動画を放映した。

広報・PR

集客と告知については、Athlete Career Challenge カンファレンス2022のチラシの作成、PR TIMESでの掲載、申し込みサイトの作成、メディアへの取材申し込み書の配布、事後速報リリースの配布を実施した。

## チラシの作成

スポーツ庁委託事業「令和3年度スポーツキャリアサポート支援事業」

### Athlete Career Challenge カンファレンス 2022

アスリートのCX(キャリアトランスフォーメーション)への挑戦が切の拓く未来  
～アスリートが社会全体の活性化の推進者として活躍する社会へ～

開催方法：オンラインでの実施となります。手話通訳あり。  
2022年3月12日[土] 13:00～16:00  
令和4年 参加費：無料

参加方法 下記のサイトよりお申し込みください。  
URL: <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02kg4jqk0021.html>

#### プレス発表

スポーツキャリアサポート支援事業について  
今後のスポーツキャリアサポートコンソーシアムの方針について発表いたします。

#### 登壇者



室伏 広治 氏  
2004年アテネ五輪  
金メダル  
2012年ロンドン五輪  
銀メダル  
ハンマー投げ日本代表  
スポーツ庁長官



高橋 義雄 氏  
スポーツキャリア  
サポート  
コンソーシアム会長  
筑波大学体育系  
教授

久木留 毅 氏  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム副会長  
/ 協賛団体の日本スポーツ協会の副会長  
/ 日本オリンピック委員会  
/ 国立スポーツ科学センター  
星野 一朗 氏  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム副会長  
/ 協賛団体の日本オリンピック委員会の理事  
藤原 正樹 氏  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム副会長  
/ 協賛団体の日本オリンピック委員会の理事

#### トークセッション

アスリートが語るライフキャリアデザインの課題と提言

#### 登壇者



五郎丸 歩 氏  
朝日グループ株式会社  
クアラルンプール・マレーシア  
元ラグビー日本代表



久古 健太郎 氏  
デロイト トーマツ  
コンサルティング株式会社  
元プロ野球



小野 真由美 氏  
SMPのく株式会社 東京  
カスタマーチーム 部長  
元女子サッカー日本代表



中西 麻耶 氏  
株式会社阪急交通社  
所属アスリート(バレーボール)



外池 大亮 氏  
スカパーJSAT株式会社  
東京 早稲田大学 国際経営学部  
元Jリーグ



田中 研之輔 氏  
法政大学キャリアデザイン学部  
第一専攻部長 / オンライン  
キャリア部長 代表理事

#### トークセッション

社会・企業で求められる人材とアスリート人材の可能性

#### 登壇者

源田 泰之 氏  
ソフトバンク株式会社  
コーポレート総務  
人事部 本部長

松田 敏之 氏  
両備ホールディングス  
株式会社  
代表取締役社長

丸山 武志 氏  
豊後市特別顧問  
株式会社マネージャー  
(原簿・株式会社経営研究所)

高橋 竜太 氏  
S&LN株式会社  
代表取締役社長

#### トークセッション

アスリートキャリアコーディネーターが語る課題とアクションプラン

#### 登壇者

大塚 航平 氏  
住友商事株式会社

小林 賢太郎 氏  
静岡県オンライン  
スケート協会 理事

田沼 泰輔 氏  
公益社団法人全国障害者  
雇用事業所協会 理事  
事業継続大学院大学  
特任教授

白鳥 歩 氏  
株式会社パナグループ  
アスリートコーチ  
/ 日本体育大学バレーボール部  
ビーチバレーボールコーチ



SPORT CAREER SUPPORT  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム(SCSC)とは  
2017年2月にスポーツ庁委託事業の一環として、アスリートのキャリア形成を支援する体制を整備することを目的  
として創設され、現在、産学官連携組織として61団体が加盟しています(2022年1月現在)。SCSCは、スポーツ界、  
経済界、教育界などの関係・個人・法人が参加し、「協働と共創」を理念に運営しております。

タイム  
スケジュール

3/12[土] 13:00～16:00 (180分)

- 13:00 プレス発表「スポーツキャリアサポート支援事業について」
- 13:30 トークセッション1「アスリートが語るライフキャリアデザインの課題と提言」
- 14:35 トークセッション2「社会・企業で求められる人材とアスリート人材の可能性」
- 15:15 トークセッション3「アスリートキャリアコーディネーターが語る 課題とアクションプラン」



スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局  
E-mail: [sportcareer@futuredesignlab.jp](mailto:sportcareer@futuredesignlab.jp) TEL: 03-6222-9855  
当事務局の運営は、スポーツ庁を初め3年度(スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営)事業です。

主催：スポーツキャリアサポートコンソーシアム(SCSC) 受託事業者：株式会社フューチャー・デザイン・ラボ  
運営：株式会社MPandC

## PR TIMESでの告知

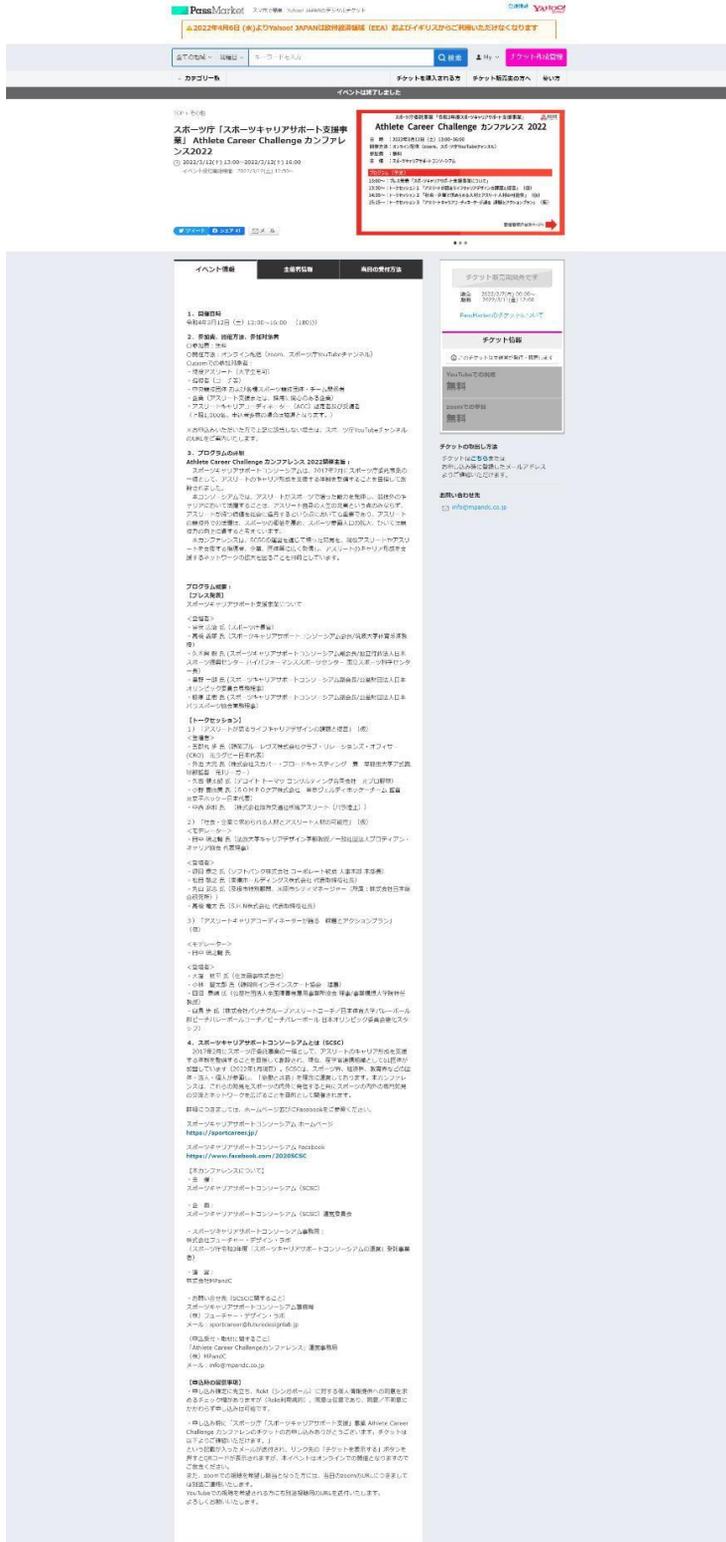
2022年2月25日10時にPR TIMESにて以下のプレスリリースを掲載。  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000073531.html>

The screenshot shows a press release on the PR TIMES website. The main headline is "スポーツ界の活躍【特別発表】「アスリート実業家」Athlete Career Challenge カンファレンス 2022". The sub-headline is "アスリート 18人がアスリート実業家として活躍の経験からアスリート実業家の重要性を説き及ぼす「アスリート実業家」". The release date is "2022年2月25日 10時00分". The event is scheduled for "2022年3月12日(土) 10時". The main text discusses the importance of athletes becoming entrepreneurs and the role of the Athlete Career Challenge. It lists several speakers and their affiliations, including Masahito Ueda (CEO of Ueda Group), Naoki Ueda (CEO of Ueda Group), and others. The event is held at the Grand Hyatt Hotel in Tokyo. The page also includes a list of related press releases and a Facebook link.

# 集客方法・告知③

## 集客・申し込みサイト

PASSMARKETにて以下の広報サイトと申し込みサイトを作成し、2月7日に公表。



## メディアへの周知

2月19日にメディアへの周知を実施。

報道関係者各位  
カンファレンスへのご取材参加（現地・オンライン）のお願い

スポーツ庁  
SPORT  
Athlete Career Challenge カンファレンス 2022  
アスリート CX (キャリアトランスフォーメーション) への挑戦が今の未来へ  
～アスリートが社会全体の活性化の推進者として活躍する社会へ～

スポーツキャリアサポートコンソーシアム (以下 SCSC) は、2017年2月にスポーツ庁委託事業の一環として、アスリートのキャリア形成を支援する体制を整備することを目的として創設され、現在、食生活指導員として61団体の加盟、1月現在、SCSCは、スポーツ、経済界、教育界などの団体・法人・個人が参加し、「協働と共益」を理念に運営しております。  
本カンファレンスは、これらの知見をスポーツの内外に発信すると共に、専門知見の交流とネットワークを広げることを目的として開催されます。

日時 令和4年3月12日(土) 13:00～16:00(3部制) (メディア受付:12:30)  
場所 赤坂インターシティ-AIR 4F [the AIR] (東京都港区赤坂 1-8-1)  
参加・収録 一部のカメラはオンラインでの参加が可能です。メディアの方々は現地またはオンラインでの取材が可能となります。

スケジュール

- 第一部 13:00～ フォーラム：スポーツキャリアサポート支援事業について
- 第二部 13:30～ トークセッション1：「アスリートが語るキャリアデザインの挑戦と課題」

**Athlete Career Challenge カンファレンス 2022**

特別講演者  
佐藤 誠 氏  
佐藤 誠 氏

- 第三部 14:35～ トークセッション2：「社会・企業で求められる人材アスリート人材の可能性」
- 第四部 15:15～ トークセッション3：「アスリートキャリアデザインをテーマとしたパネルディスカッション」

**Athlete Career Challenge カンファレンス 2022**

特別講演者  
佐藤 誠 氏  
佐藤 誠 氏

開催方法・申込方法

- 参加費：無料
- 開催方法：オンライン配信 (Zoom、スポーツ YouTube チャンネル)
- Zoomでの参加対象者：
  - 競技アスリート [大学生も可]
  - 指導者 [コーチ等]
  - 中核競技団体および各種スポーツ関連団体・チーム関係者
  - 企業 (アスリート支援または、採用に熱心な企業)
  - アスリートキャリアセンター (ACC) 認定者及び関係者
- ※ 上限1,000名。申込者多数の場合は抽選となります。
- ※ Zoomの参加抽選に当たっては、当日スポーツ YouTube チャンネルのライブ配信にて開いたります。
- 申込 URL (Zoom、スポーツ YouTube チャンネル)：
  - <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/925q4je9621.html>
  - FLYP参加者：会場に申込み可能です。
  - 申込 URL: <https://forms.office.com/r/J5KFTCCCL>

※スポーツキャリアサポートコンソーシアム (SCSC) とは  
2017年2月にスポーツ庁委託事業の一環として、アスリートがキャリア形成を支援する体制を整備することを目的として創設され、現在、食生活指導員として61団体の加盟、1月現在、SCSCは、スポーツ、経済界、教育界などの団体・法人・個人が参加し、「協働と共益」を理念に運営しております。詳細につきましては、ホームページ上で Facebook をご参照ください。

スポーツキャリアサポートコンソーシアム ホームページ <https://sportcareer.jp/>  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム Facebook <https://www.facebook.com/2020SCSC>

お問い合わせ先  
(SCSC に関すること)  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局  
メール: [sportcareer@futuredesignlab.jp](mailto:sportcareer@futuredesignlab.jp) 電話: 03-6222-9855

(申込受付・取材に関すること)  
[Athlete Career Challenge カンファレンス] 運営事務局  
メール: [info@mpandc.co.jp](mailto:info@mpandc.co.jp) 電話: 080-7889-6048 (担当: 濱田)

「Athlete Career Challenge カンファレンス 2022」出欠席返信用紙

メールでの返信先 → [info@mpandc.co.jp](mailto:info@mpandc.co.jp)  
FAX での返信先 → 050-3156-2257  
ネット上での返信 → <https://forms.office.com/r/J5KFTCCCL>

参加します  欠席します

オンライン (Online Press) に参加します

★オンラインにて参加される場合に、「Online Press」へのメディア登録を事前にお申し込みください。  
(登録をされない視聴ができなかったり、データのダウンロードができません。)

→ Online Press 登録へ <https://online-press.jp/>

媒体種	<input type="checkbox"/> TV <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 (週刊誌含む) <input type="checkbox"/> WEB <input type="checkbox"/> その他
媒体名	
ご所属名/所属人	様/他 名
メールアドレス	
連絡先 (携帯)	
OA/掲載予定日	

【赤坂インターシティ 所在地】東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR 3F-4F  
【連絡先】 TEL 03-5676-2201  
【東京・人口】 経港線・南北線 原宿山王駅直結 千代田線・丸の内線 原宿駅直結 有明

お問い合わせ先  
(SCSC に関すること)  
スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局  
メール: [sportcareer@futuredesignlab.jp](mailto:sportcareer@futuredesignlab.jp) 電話: 03-6222-9855

(申込受付・取材に関すること)  
[Athlete Career Challenge カンファレンス] 運営事務局  
メール: [info@mpandc.co.jp](mailto:info@mpandc.co.jp) 電話: 080-7889-6048 (担当: 濱田)



## 登壇者である中西選手の記事をYahoo! ニュースに掲載

トークセッション1に登壇する中西麻耶選手の記事を3月6日のYahoo!ニュースに掲載をした。記事内ではパラアスリートとしてのキャリアの考え方という内容や本カンファレンスの申込サイトのURLについても記載されている。本記事を通じ、一般の方だけでなく「パラアスリート」へのカンファレンス広報という新たな取り組みを実施した。

URL: <https://news.yahoo.co.jp/articles/6a861d08ce125ddd1a6f50266f24bb1cfbd43823>

The screenshot shows a Yahoo! News article titled "パラ走り幅跳び・中西麻耶が明かす「東京パラの悔しさ」と「引退後の未来」〈dot.〉". The article is dated 3/6(日) 10:00 and is from AERA dot. It features a photo of Mami Nishimizu with a dog. The text discusses her 2006 accident, her Paralympic career (Tokyo 2020), and her reflections on her future. Navigation buttons at the bottom show page 1 of 3.

## 事後速報リリースの配布

3月12日のACCカンファレンス後、18時にPR TIMESにて以下の事後速報リリースを配信した。  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000073531.html>

PRESS RELEASE (事後速報レポート)  
 報道関係者各位  
 2022年3月12日

**スポーツ庁委託事業「令和3年度スポーツキャリアサポート支援事業」  
 Athlete Career Challenge カンファレンス 2022  
 を開催しました！**

スポーツキャリアサポートコンソーシアム（以下、SCSC）<sup>※</sup>（会長：高橋 龍雄）は、2022年3月12日（土）に、赤坂インテグレーションカンファレンスにて、Athlete Career Challenge カンファレンス 2022を開催しました。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般の参加者向けにはオンライン配信を行いました。会場には事務局関係者・メディアのみが会場）

本カンファレンスは、「アスリートのCX（キャリアトランスフォーメーション）への挑戦が切迫（未来～アスリートが社会全体の活性化の推進者として活躍する社会へ）」を大きなテーマとし開催いたしました。スポーツ庁室伏広部長官は開会の挨拶にて、「アスリートが競技を離れし得た能力を次のステージでも遺憾なく発揮するために、SCSCの取り組みを活用し、スポーツ界と経済界が今以上に連携することが必要であること」について話しました。

次にスポーツキャリアサポートコンソーシアム専務理事兼会長及びSCSCの方針について発表があり、「SCSC キヤリアセンターの開設」について説明がありました。SCSC キヤリアセンターは、競技・団体が拠出した相談窓口の設置等の「キャリアサポートとしての機能」とアスリート向けキャリア教育のサポートをはじめとする「デュアルキャリア教育の推進」を大きな役割とし関連することについて伝えました。

その後3つのトークセッションが実施されました。トークセッション1では元Jリーガーである外池大亮氏がモデレーターとなり、「アスリートが語るキャリアデザインの課題と提言」をテーマに、元U-18日本代表の五郎丸歩氏、元F1野球選手の手久吉健太郎氏、元女子ホッケー日本代表の小野真由美氏、現役の（元）陸上選手である中西麻耶氏らが熱い議論が飛び交いました。トークセッション2では「企業・社会で求められるビジネス人材とアスリート人材の可能性」をテーマとし、各企業の人事に関わる方々からビジネス界で求められる人材像とアスリート人材の可能性についてのクロスワークが展開されました。トークセッション3では本年度的に育成・認定をしたアスリートキャリアコーディネーターの代表者4名より現状の課題と今後のアクションプランについて話していました。

※スポーツキャリアサポートコンソーシアムは、2017年2月にスポーツ庁委託事業の一環として、アスリートのキャリア形成を支援する体制を整備することを目的として創設されました。本コンソーシアムは、協働と共益の理念に基づき、スポーツ界、教育界、経済界などから団体・個人・個人が参加し、アスリートのキャリア形成を支援するコーディネーターの育成を行っています。

**【当日コメント：スポーツ庁長官 室伏 広治】**  
 アスリートの皆さんが競技を離れて得た能力を次のステージでも遺憾なく発揮することが、スポーツの価値を向上させることにつながります。スポーツ界と経済界が連携し連携している本コンソーシアムの活性化が、今後のアスリートのキャリア形成の推進につながっていくと考えています。

**【当日コメント：SCSC 会長 高橋 龍雄】**  
 アスリートが自己実現を遂げるためにSCSCのどじんです。SCSCの会員数は競技団体、民間企業、大学、行政等を含め64団体あり、会員間の連携を強めていくことでなるアスリートのキャリア支援ができると考えています。今後、SCSCはキャリアセンターを開設し、①キャリアサポートとしての機能と②デュアルキャリア教育の推進を大きな役割とし推進していきます。

**開催概要**

- 催事名称 : Athlete Career Challenge カンファレンス 2022  
 「アスリートのCX（キャリアトランスフォーメーション）への挑戦が切迫（未来～アスリートが社会全体の活性化の推進者として活躍する社会へ）」
- 主催 : スポーツキャリアサポートコンソーシアム  
 事務局：株式会社フューチャーデザインラボ  
 （スポーツ庁令和3年度「スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営」委託事業者）
- 企画 : スポーツキャリアサポートコンソーシアムプロジェクト運営委員会
- 運営 : 株式会社MPandC
- 日時 : 3月12日（土） 13:00～16:00
- 入場者 : 報道関係者・メディアのみ  
 （一般参加者はスポーツ庁 YouTube チャンネルでのライブ配信で視聴）
- 会場 : 赤坂インテグレーションカンファレンス（東京都港区赤坂1丁目8-1）

**【当日プログラム】**

時間	プログラム
13:00	スポーツ庁「スポーツキャリアサポート支援事業」の説明
13:06	スポーツキャリアサポートコンソーシアム方針発表
13:30	トークセッション① テーマ「アスリートが語るキャリアデザインの課題と提言」
14:35	トークセッション② テーマ「企業・社会で求められるビジネス人材とアスリート」
15:17	トークセッション③ テーマ「キャリアコーディネーターが語る 課題とアクションプラン」
16:00	閉会

**【当日の様子：フォトセッション、トークセッション】**



スポーツ庁長官、SCSC 会長・副会長  
 トークセッション1の出演者



トークセッション1の様子



外池大亮氏



五郎丸歩氏



中西麻耶氏



小野真由美氏



久吉健太郎氏

<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先>  
 Athlete Career Challenge カンファレンス運営事務局(株式会社 MPandC 内)  
 TEL : 03-6864-4390 / mail : info@mpandc.co.jp (担当：村上)  
 <スポーツキャリアサポートコンソーシアムに関するお問合せ先>  
 スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局 (株式会社フューチャーデザイン・ラボ)  
 mail : sportcareer@futuredesignlab.jp

# アンケート

# アンケートの回答者を増やす工夫①

アンケートの回収率を増やすため、閉会後のスライドにアンケートへの誘導スライドを提示し回答を促した。スライドにはQRコードを提示し、視聴者がスマートフォンでも回答できるようにするとともに、チャットでもURLを送付し回収率の向上に努めた。

スポーツ庁「スポーツキャリアサポート支援事業」の  
今後の推進のために、本カンファレンスの  
アンケートにご協力ください。

あなたの声が  
アスリートをサポートし、  
日本のスポーツの未来を創ります。



# アンケートの回答者を増やす工夫②

アンケートはMicrosoft Formsを使用し、PCやスマートフォンなどでもアクセスできるようにし、利便性を高めた。

The screenshot shows a Microsoft Forms survey interface. At the top, there is a title bar with a back arrow, the text '戻る', and device icons for 'コンピューター' and '携帯電話/タブレット'. The main title is 'スポーツ庁「令和3年度スポーツキャリアサポート支援事業」 Athlete Career Challenge カンファレンス2022視聴者アンケート'. Below the title is a short introductory paragraph. The survey consists of six questions, all marked as required (\* 必須):

1. 年齢 \* (Age) - A dropdown menu with '答えの選択' (Select answer).
2. 性別 \* (Gender) - A dropdown menu with '答えの選択'.
3. ご職業 \* (Occupation) - A dropdown menu with '答えの選択'.
4. 所属 \* (Affiliation) - A dropdown menu with '答えの選択'. Below the dropdown is a small explanatory text: 'スポーツ団体は選手が所属・加盟していることを前提としており、スポーツ競技団体（中央競技団体、都道府県団体等）、スポーツ協会、スポーツチーム等（プロ・アマは問わない）や、スポーツ関連団体もこれに含まれます'.
5. 所属名（任意） (Affiliation name, optional) - A text input field with the placeholder '回答を入力してください'.
6. 手話通訳を利用しましたか。 \* (Did you use sign language interpretation?) - Radio buttons for 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No).

At the bottom of the form, there is a link '返信後に印刷のコピーを印刷することができます' and a green '送信' (Submit) button. A small footer at the very bottom contains a disclaimer: 'このアンケートフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含めお客様のプライバシーポリシーの扱いに同意して一切の責任を負いません。パスワードを記憶しないでください。'

結果、222名の方にご回答いただいた。

# アンケート項目（ACCカンファレンス 1/2）

年齢
10代
20代
30代
40代
50代
60代以上
性別
男
女
どちらでもない
解答しない
ご職業
会社員（正社員）
会社員（契約社員）
公務員・団体職員（正社員）
公務員・団体職員（契約職員・非常勤）
自営業・自由業
会社役員・経営者
パート・アルバイト
学生（高校生以下）
学生（大学生）
学生（大学院生）
専業主婦・主夫
その他
所属名（任意）
手話通訳を利用しましたか。
はい
いいえ
「はい」と答えた人にお聞きします。視聴デバイスを教えてください。
スマートフォン
PC
その他
手話通訳の画面は、確認できるサイズでしたか。
よく確認できた
やや確認できた
どちらともいえない
あまり確認できなかった
全く確認できなかった
手話通訳の内容は、理解できましたか。
よく理解できた
やや理解できた
どちらとも言えない
あまり理解できなかった
全く理解できなかった
オンラインにおける手話通訳の利用について、改善点がありましたら教えてください。（任意）
参加動機を教えてください。
アスリートとして自分自身のキャリアについて考えているから
アスリートのキャリア支援に興味があるから
アスリートのキャリア支援に実際に関わっているから
アスリートの採用に興味があるから
トークセッションの登壇者に興味があったから
カンファレンスのテーマに興味があったから
スポーツに関するテーマに興味があったから
その他

# アンケート項目（ACCカンファレンス 2/2）

当てはまるものにチェックをつけてください。【プレス発表】スポーツキャリアサポート支援事業について

- 非常に参考になった
- やや参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

本プレス発表で具体的に印象に残ったことは何ですか。（任意）

プログラムの内容について、当てはまるものにチェックをつけてください。トークセッション①「アスリートが語るライフキャリアデザインの課題と提言」

- 非常に参考になった
- やや参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

本トークセッションで具体的に印象に残ったことは何ですか。（任意）

トークセッション②「社会・企業で求められる人材とアスリート人材の可能性」

- 非常に参考になった
- やや参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

本トークセッションで具体的に印象に残ったことは何ですか。（任意）

トークセッション③「アスリートキャリアコーディネーターが語る 課題とアクションプラン」

- 非常に参考になった
- やや参考になった
- どちらともいえない
- あまり参考にならなかった
- 全く参考にならなかった

本トークセッションで具体的に印象に残ったことは何ですか。（任意）

アスリートキャリアコーディネーター育成プログラムを受講したいと思いますか。

- 大いにそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）について知っていましたか。

- 今回初めて知った
- 以前から知っていた

（企業・団体様向けのご質問）スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）への加盟を希望、もしくは興味がありますか。

- 希望する
- 興味がある
- 希望しない

このカンファレンスの情報をどこで知りましたか？

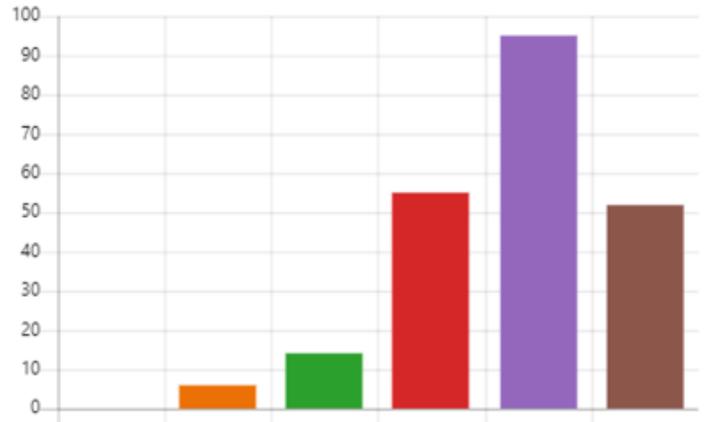
- SCSC会員として事務局からの告知
- ACC受講生として事務局からの告知
- SCSCのHP
- SCSCのFacebook
- SCSC会員の紹介
- アスリートキャリアコーディネーターからの紹介
- スポーツ庁のHP
- スポーツ庁のFacebook又はTwitter
- NPO法人キャリアコンサルティング協議会からの案内
- NPO法人 キャリアカウンセリング協会からの案内
- 登壇者のSNS・紹介
- プレスリリース・その他メディア掲載情報
- その他

その他、ご意見・ご感想等あればご自由にお書きください。

# アンケート結果（ACCカンファレンス）

## 1. 年齢

[詳細](#)



## 2. 性別

[詳細](#)

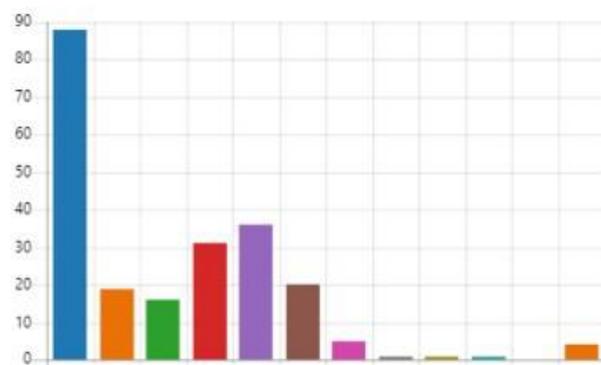
Insights



## 3. ご職業

[詳細](#)

Insights



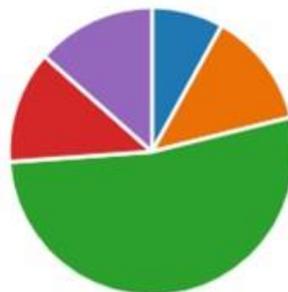
# アンケート結果（ACCカンファレンス）

## 4. 所属

詳細

💡 Insights

● スポーツ団体	18
● 教育機関	29
● 民間企業	117
● 行政機関	28
● その他	30



## 5. 企業名（任意回答）

JTP株式会社、日本水泳連盟、b-active株式会社、境浩史、C'sキャリアコンサルティング株式会社、（株）ICキャリア、法政大学アイスホッケー部コーチ、日本女子体育大学、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、株式会社エイジック、法政大学多摩キャリアセンター、東洋大学、株式会社リクルート、山梨リハビリテーション病院、株式会社リクルートキャリアコンサルティング、京王観光株式会社、アスコメLabo.、ハローワーク、凜空カウンセリング研究会、一般社団法人 北海道アメリカンフットボール協会、人材サポート、一般社団法人心理アロマ協会、全日本フルコンタクト空手コミッション、神戸女子大学／神戸女子短期大学、株式会社ウィザス、大和シルフィード、アデコ株式会社、住友電気工業株式会社、学校法人 城西大学、旭化成ファインケム株式会社、花王グループカスタマーマーケティング カネボウ、フジ物産(株)、人事労務部署、株式会社アウトソーシング、株式会社リクルート、株式会社フォロアス、大阪府 商工労働部 雇用推進室 就業促進課 就業支援グループ、鹿児島県社会保険労務士会、キャリアコンサルティング協議会、社労士Office SerenoM 代表、国立吉備高原職業センター（令和4年4月1日～） 大学・専門学校・高等学校へのキャリア教育の非常勤講師、美ら咲株式会社、大正製薬株式会社、NPO法人スポーツ業界おしごとラボ、キャリアコンサルティング協議会（一般財団法人ACCN担当事務局）、Career Knit、株式会社 阪急交通社、全日本空輸株式会社、株式会社ニチダイ、東京海上日動キャリアサービス、日本テニス協会、名古屋市立大学整形外科、日本ボールバルブ、公益財団法人新潟県スポーツ協会、NPO法人総社スポーツ&ヒューマンネットワーク、長崎スポーツマネジメント協議会、滋慶学園グループ 滋慶トータルサポートセンター、横浜国立大学硬式野球部、株式会社 A X I A、株式会社リクルート、徳島県若年者就職サポートセンター、リベラキャリア、ユースひろさき、有限会社あうとりがー、ハローワーク 相談部門、仙台大学、一般社団法人日本パラバドミントン連盟、リクルートエージェント、三菱商事、日本ハム株式会社、福岡大学、パーソルキャリア、摂津市教育委員会

# アンケート結果（ACCカンファレンス）

## 6. 手話通訳を利用しましたか。

[詳細](#)

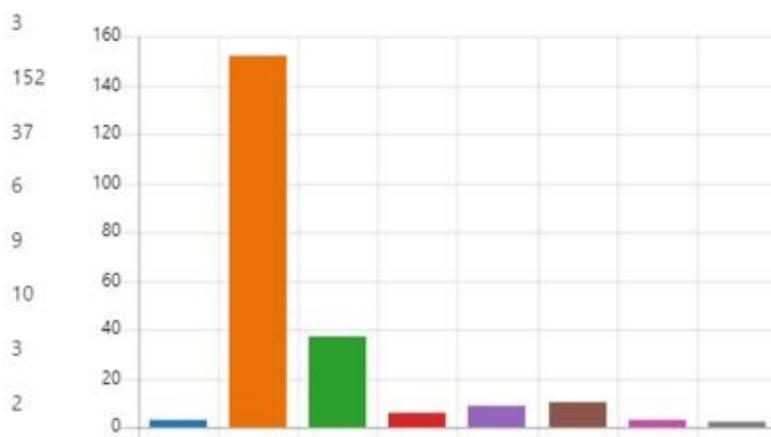
● はい	0
● いいえ	222



※問7~10は手話通訳利用者に対するアンケートであったが、手話通訳の利用がなかったためため割愛。

## 11. 参加動機を教えてください。

- アスリートとして自分自身のキャリアについて考えているから
- アスリートのキャリア支援に興味があるから
- アスリートのキャリア支援に実際に関わっているから
- アスリートの採用に興味があるから
- トークセッションの登壇者に興味があったから
- カンファレンスのテーマに興味があったから
- スポーツに関するテーマに興味があったから
- アスリートとして自分自身のキャリアについて考えているから



# アンケート結果（ACCカンファレンス）

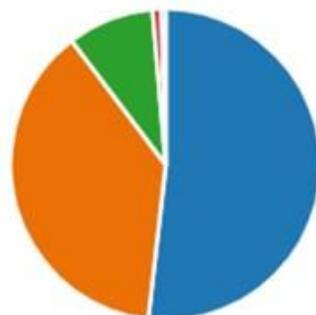
12. 当てはまるものにチェックをつけてください。

【プレス発表】スポーツキャリアサポート支援事業について

詳細

💡 Insights

● 非常に参考になった	115
● やや参考になった	84
● どちらともいえない	20
● あまり参考にならなかった	2
● 全く参考にならなかった	1



## 本プレス発表で印象に残ったこと

- ・ キャリアセンターの設置まで考えており、プロとアマチュアの違いでの悩みからのキャリア相談が困難であることがわかった
- ・ ACCが具体的にアスリートのキャリア支援ができることにやり甲斐を感じた。
- ・ ともかく話を聞いて欲しい、と思う人がいる、ということや、アスリートとして相談先はアスリートじゃない一般の人がいい、という声がバネラーから複数挙がったところ。
- ・ 計画段階から実行段階に入っている事
- ・ 2022年度にキャリアカウンセリングをアスリートに対し実施すること
- ・ 社会に於けるアスリートの存在意義
- ・ スポーツ庁長官の出席
- ・ トークセッション①でのアスリートの皆さんの経験から来る本音
- ・ 国を挙げて支援をしていくことを本気で考えていることが伝わってきたところ
- ・ アスリートは自分に厳しくできるので、視野を広げればあらゆる分野で活躍できる資質が高いと思います。
- ・ 制度自体に興味がありアスリートの採用に併せて、アスリートのキャリア支援もしたいと思いました。また、アスリートキャリアコーディネーターという独自の制度があることも印象に残りました。
- ・ キャリアが閉ざされた時にどうしたらいいのか。感覚で培っていたことを言語化するために学問を。等等と素敵な言葉があり、自分の今後を考えるヒントとなりました。
- ・ 秋からインターシップを予定している事
- ・ 未来あるアスリートのセカンドキャリアと社会における価値創出課題。
- ・ アスリートキャリア支援センターが、開設されるということ。Web上にできると理解したので、利用促進の何か仕掛けを考えてみたいと思いました。
- ・ 元アスリートの方が企業に入る時に苦労した事。
- ・ アスリートへのキャリアコンサルティングの無料提供
- ・ インターンシップなどの窓口にもなっていくということ
- ・ オンラインでの運営 原監督のメッセージ
- ・ 同僚選手から、温度差を指摘されたとの発言（プロに入ったものの、1軍を目指すためにしやむに努力しているし、1軍に入ったとしても2軍に落ちない、定着をするために励んでいるときに、そうでない選手がいるときにモチベーション低下を発言する人がいる、との趣旨。）
- ・ アスリートは自分の監督、コーチ身近な人になかなか弱音をほけないところが印象に残りました。
- ・ 当社は以前入団時の選手に対して、お金、社会人としてのマナー、気を付けておくことなどを伝えていたと聞いています。これからはアスリートとしての役割を終えた後についてもサポートする必要があると実感できたこと。

# アンケート結果（ACCカンファレンス）

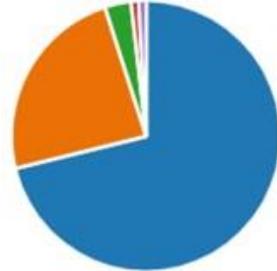
## 14. プログラムの内容について、当てはまるものにチェックをつけてください。

### トークセッション①「アスリートが語るライフキャリアデザインの課題と提言」

詳細

Insights

非常に参考になった	158
やや参考になった	53
どちらともいえない	7
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	2



## 本トークセッションで印象に残ったこと

- アスリートキャリアの言語化
- アスリートは想像以上に開かれたコミュニティで活動している
- アスリートが転身された実話
- セカンドキャリアを考えなければいけない時、途方に暮れている方が多いということ。
- 競技生活で得たもの、生かせるものを広く考えること。（久古さんの例のように投手であればデータ分析）
- 障害者アスリートの現実。
- アスリート側の気持ちの変化事例と現状
- 生の選手の声が聞けたこと、感じていることが共有できたこと
- アスリートであっても、だれもが学ぶ姿勢、さまざまな人との交流が必要であること 五郎丸さんの話が印象的であった
- アスリート自身が感じている課題が分野に限らず共通していること
- やり切ったことのある人のすごさ、アスリートには多い
- 五郎丸さんも大学院で今から学びことはよい刺激です
- アスリートがキャリア形成において第三者と話すことが大切だと感じていること
- アスリートの方が現役中にキャリアについて相談する場が身近なこと。
- TOPアスリートであっても引退後の学びと自己研鑽はかなり必要
- スポーツの価値をどう創り上げるか 複線型キャリアの重要性(五郎丸選手も実行させている)
- アスリートの強みが経験値の豊富さであること
- 障害者の就労支援をしている立場で中西氏のバラスポーツに関する課題は興味深かった
- トップアスリートの方は自信满满で、自分の決定に揺るぎない信頼を持って行動していると思っていたが、それがメリットでもありデメリットでもあること
- 生の声としての現状を把握できたこと、モデレーターの方の話（インターンシップに参加したら白い目で見られた）からも、アスリートご本人だけでなく環境の整備（キャリアイベントなどに参加してもいい等）も重要であることも理解できました。
- 既成概念に捕らわれない対応、支援者/地域との係りに関する発言
- やはり、結果の求められる舞台上立ち続けるアスリートを、それを知ることなく支援する恐さがあるということ。ここに登壇しているのは、競技引退をしているか、競技歴が長く、自分のことをマネジメント出来ていたり、自らの言葉で表現出来る人であることを視聴側が認識しているのが前提だと感じた。そして、中西さんがおっしゃっていたように、Tokyo2020があるからと言ったようにイベントごとに反応しやすい日本の社会や国民性の理解はアスリート側も知らないといけない。適切な情報を伝えられない人が、悪いや勢いだけで支援したことでも不幸になる人がいることを知らないといけない。そこで生じた心理的課題や障害を解決出来ないのに、無理に解決しようとしてはいけない。そんなことを改めて考えさせてくれるセッションでした。
- 実際にアスリートとして活躍した後のことはなかなか考えられていないとのこと。
- アスリートが言語化する力を必要としていることに対して意外でした。アスリートの経験のない人にも話を聞いてほしいという言葉にACCとしてうれしく思いました。
- スポーツの世界以外の人に話を聞いてもらえる接点欲しい。
- 五郎丸さんがアスリートやスポーツ関係の方が自身の持つ縦の関係だけでなく、他のことをしている方と話をする機会を持つ方が良いと考えられていると仰っていたこと。
- 五郎丸氏の「同業には相談できない」「自身の外部からの学びが必要」の発言。
- 昔の指導者の方が気合や根性論を唱える背景は、成功や失敗した数、チャレンジした数が、他人のよよりも何倍もあり、それを実現したからであるという言葉に、そのような捉え方があるのだと思いました。
- 五郎丸さんからの発言の中で、新型コロナ禍で一気に進んだオンライン学習・学修がアスリート自身の支援に有益であるとのこと。ひょっとしたら、普段接しない、私どものようなキャリアコンサルタントが、普段接している学生と同じように、アスリートの練習の隙間を縫ってキャリア支援の拠地を作るチャンスがあるのかと思えました。
- 「選手時代はいろんな方々の方から会いに来てもらっていたが、引退すると会いに行かないといけないう事に気付いた。」と話していたことが印象的で、セカンドキャリアへ踏み出す為の意識改革になる部分のかなと感じました。
- アスリートの方々の現状と生々しい事例が、聞けて参考になった。◆中西さんが言っていた、突然の出来事で障害者になった人に対するバラスポーツへの誘導に困るような状態であったので、少し気に成りました。
- 外池氏の体験に基づいた進行が素晴らしいです。アスリートの持つ能力の社会貢献、企業戦力を具体的に目付言語的表現を可能にする教育と機会の必要性。
- 元プロ野球選手や元サッカー選手が起業した話など、競技から離れたセカンドキャリアの話はとても意義があった。現役選手や復帰選手、競技から離れられない人は選考違いではないかと感じる。
- 「アスリート自身は、誰に、どんなサポートを必要としているのか？」といった質問させていただき、その回答から知見を得られたように思います。
- 障がいを持つ子供にスポーツ選手としての可能性があると感じた企業がアスリートへの挑戦を持ちかけることで、子供がスポーツを始めるようになるという点。スポーツでスランプに陥ったり、思うようにいかない時に、元々主体的に始めたスポーツではないことから、他真にするなど自らの方で克服するという話がとても印象的でした。これは企業側にも大きな責任があると感じました。
- アスリートは成功のみでなく失敗も経験していて、それを乗り越えてきているので、セカンドの社会に出てこそが非常に生きていく強みであること
- 自信の特徴にのっぴきあせるか
- 周りからある競技の適性を要られてその競技に打ち込んでいても、挫折感を覚えた時に自分で選んだという意識が希薄な時に、なぜその競技を選んだかという意識に苛まれる方がいる、との発言。
- 世界で活躍したアスリートの方々は、広い人脈と視野をもっているかと思いましたが、逆に狭い競技社会の中という既成概念にとらわれているところが意外で印象に残りました。
- 昔の体育会系の出身者、根性気合いだけでは足りない、ホトムアップ、巻き込み力、調整力、そして更に拡大すると、戦略や相手チームの分析など、スポーツを通して培ったスキルが社会人基礎力に値すること。現役時代から将来に向けて企業のインターンシップを8回経験。そこで学びが現役を続ける原動力にも繋がっていたこと。でも一方、同じサッカー界の仲間達には現役からインターンシップに行くのは邪道と敬遠されている環境だったことなど。
- プロ選手がコンサル会社への転職などされていることは印象に残りました。元々体育会系だったのもあり実業団目当てで入社するも、引退を機にやりたい仕事ではなく悩む友人が代代的にも多く、自分自身も大学生の支援をする中で現状の課題感も知れたことが参考になりました。
- 五郎丸さんが、学業の必要性を感じ学びを続けられていることを知り、リカレント教育の重要性を体得し主体的に行動されている遅さを感じた。

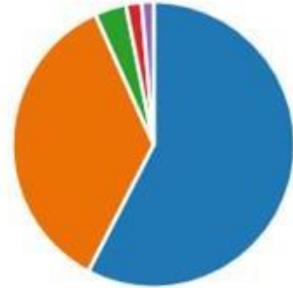
# アンケート結果（ACCカンファレンス）

## 16. トークセッション②「社会・企業で求められる人材とアスリート人材の可能性」

詳細

Insights

非常に参考になった	128
やや参考になった	79
どちらともいえない	8
あまり参考にならなかった	4
全く参考にならなかった	3



### 本トークセッションで印象に残ったこと

- ・アスリートが求められる場はあらゆる場広がっている
- ・アスリートはやり切ったことがあるのが最大の強みであり再現性を持っている
- ・スポーツの経験が活かせる人と競技に燃え尽き、中々活かさない人ごいるということ。
- ・早いうち（選手のうちから）から時間をどう使うか、テクノロジーの動向を知る、とかアンテナを立てて情報を得る
- ・企業側の本音
- ・アスリートの課題と活かせる力について、改めて確認できた
- ・アスリート自身が望んでいることがわかり、ACCとして方向性を再考できたこと
- ・企業側のアスリートの捉え方が理解できた
- ・視野を広げるために、色々な人に相談できること
- ・ソフトバンクの人材育成への取り組みが非常に進んでいること
- ・自分も企業の採用担当者として共感できる部分が多々あった。
- ・このトークセッションを聞いていて、結局はアスリートは一般人とは違うすごい存在、という意識から抜けていないように感じられ、一般人と真摯に向き合うのかどうか、コーディネーターからのアドバイスに向き合うのか、少々疑問を感じました。
- ・アスリートの実際の社会・企業での評価の高さ。
- ・ソフトバンクさまのキャリア開発の取り組み
- ・丸山氏の行政の視点での活動
- ・企業サイドからのアスリート採用時の観点とその教育制度等（特にソフトバンクさん）
- ・乗り越える力がとても強く企業としても良質の雇用実績に繋がっていること
- ・企業でのアスリートの採用活動、成果を具体的に図や数値で説明されていたところ
- ・実際に支援している企業の考え方が分かりました。具体的な内容を知ることができる貴重な機会をいただきました。
- ・首都圏以外に本拠地のある企業のお話。
- ・企業側との協働はアスリートが社会で生活していく上で必須。多くのアスリートが起業したり出来るわけでもなく、ほとんどが雇用されることになる。その際の受け皿は、歌以外の余地もなく必要。しかし、この議論はあくまでセカンドキャリアであり、デュアルキャリアの課題解決ではない。そこまで、踏み込んで課題解決と一緒に出来る組織と組み必要がある。
- ・特性があり、それをきちんと伸ばせるキャリアサポートの必要性
- ・ソフトバンクのアスリート採用、両備グループの調査とアスリートならではの「前に進める力」をはじめとする強みのまとも
- ・バックグラウンドは関係なく、人としての努力やモチベーションが重要である
- ・チャレンジする意欲、マルチなスキル、学び続ける姿勢
- ・地方でも様々な視点でアスリートのサポートができる、支援の可能性を感じました。支援企業が増えるといいと思いました。
- ・少しらしい困難は想定内くらいのレジリエンスの強いところです。
- ・両備ホールディング松田様からアスリート出身者が他よりも評価が高い統計が出ていると仰っていたのは非常に印象に残っている。
- ・丸山武志さんの取り組み。
- ・丸山様からの複線型のキャリアをもっている場合のキャリアの形成の仕方、アスリート支援方法のお話が、複線型キャリアで迷いのあった私にもできる道があると勇気をもらいました。
- ・練習→失敗→挫折→トレーニング→アウトカムというプロセスを社会人のキャリア形成の過程に当てはめてみる、各地域ごとの支援事業に「吹っ切れたアスリート」の担う力の相乗効果、など複数の登壇者のご発言は大変参考になりました。他方、頑張ればなんとなる的な登壇者の弁については、そこをなんとか変えていきたいと思うキャリア支援者としてのジレンマもあり、「やや参考になった」とさせていただきます。
- ・社内の事だけでなく、地域貢献を意図されている事が、子供達に夢を与える事になり、素直にいいなと感じました。
- ・企業サイドの考え方や取り組みなどが知れて良かった。
- ・日本総研の丸山氏の課題や未来洞察について深い視点があり、今後のACC活動においても意識して取り組みたいと思いました。
- ・会社の説明ではただの企業紹介にしか感じられない。結果、アスリートとかではなく、会社が欲しい人材紹介になっている。そもそも、そういう段取りをして会社にぶっつけてプレゼンしてもらうというスタイルを良しとしている主催者側がデュアルキャリアやセカンドキャリアを理解していないように感じる。
- ・アスリートの社会で重要視される能力が変化しているということ。アスリートのポトムアップ力は、今の社会全体に必要な能力だと思う。
- ・競技での経験（特にメンタル面）を活かすことができること。
- ・困難を幾度も乗り越えているアスリート人材は、今後ますます必要とされたいと思いました。
- ・アスリートの方もそうでない方も同じということには同感です。
- ・企業側目線ではこうなるという、宣伝のような気がしました。誰に向けたメッセージなのか？
- ・ソフトバンクホークスなどから引退後にソフトバンクでなるべく受け入れてくれるという話です。企業との関わりが参考になりました。
- ・キャリアを閉じ込めない、越境経験の有効性
- ・社会・企業でのアスリート人材への期待度が高い。アスリートの方々は、困難な状況も乗り越えられる能力をお持ちであること
- ・自己紹介に30分！
- ・アスリートも一般も、キャリアに対する考え方は変わらない
- ・アスリート本人の努力により獲得した才能の、社会に出た際の活かし方の理解不足
- ・やり遂げる力、それを今後のキャリアに活かす
- ・企業側がアスリートに何を求めているかという話。
- ・実際に企業でアスリートが結果を出していることを聞けた。
- ・アスリートに限らず、チャレンジできるキャリア開発制度が印象に残りました。
- ・登壇者の人選に難があった。元サッカー選手（アマチュア）で経営者の方の言動が全く参考にならなかった。たくさんの方に支えられ、起業された様子であったがそういう方々への感謝ではなく、自身の気合と根性という自画自賛が見えなくて非常に不愉快であった。ああいった人材を登壇させるのは控えるべき。
- ・地域の取り組みとアスリートが貢献できること
- ・まず側から考えると厳しい競争の中で結果を求められる過酷なスポーツの世界を経験してきた人達が、自分達のすごさを認識できていないことが驚く。それだけ閉じた世界？ということでしょうか。現役を続けながら、外に関心を広げ、出来たらオンラインを活用して少しでもスポーツ以外の学びに触れていく機会はとて大切。それがただ漠然と将来は不安だし、今の競技に集中、というよりも、こんな展開の可能性もあるかも、と視野を広げつつ現役を頑張る、柔軟性も大切と思う。
- ・現役中はコミュニティキャリアが閉鎖的になりがちだが、越境経験が必要であるということ。

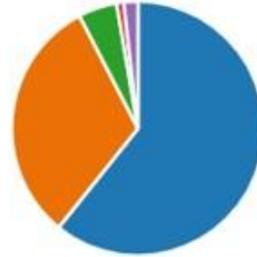
# アンケート結果（ACCカンファレンス）

## 18. トークセッション③「アスリートキャリアコーディネーターが語る 課題とアクションプラン」

詳細

Insights

非常に参考になった	135
やや参考になった	70
どちらともいえない	11
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	4



### 本トークセッションで印象に残ったこと

- 田沼先生のお話。アスリートもそれ以外の人のキャリア相談は一緒
- アスリートを支えたいという専門家はたくさんいる
- アスリートのコミュニティは同質性、閉鎖性が高い
- パネリストの経験談
- スポーツ × キャリア × ビジネス
- レジリエンスこそが必要であり、最大の力になっている
- 少し偏ったセッションだがスポーツに縁のある人の例としてはよかった
- ACC認定者の取り組みが参考になった
- 全ての人は個々の特性を持っている
- アスリートへのキャリア支援の必要性、社会が支援することの必要性が明確になった
- 各自が出来ることは理解できたが、実際の活動に結びつけにくい印象がある
- 白鳥さんのお話しがよかった。現役に近い立場でACCとして活躍されていることがすばらしいと思った。
- レジリエンス
- アクションをどう具体化するのかがという点
- キャリアコとして、通常と同じ活動でアスリートを対象とできる。
- アスリートキャリアも一般キャリア支援も基本は同じ
- それぞれの人が持参の立場でできることを具体化されており、自身も行動に移す行動計画を見直そうと思いました。
- アスリートに周りにいる大人たちにもキャリアについて真剣に考えなければならぬという事を再認識した。
- 様々な領域の方々がACCを取得していること
- 全てが参考になりました。
- まだまだキャリアカウンセリングが受けられる機会や場所（企業内等）が少ないこと
- アスリートキャリアコーディネーターとして、横のつながりがまだないため、実際のレポートと取組内容を知ることができた。
- ACCとしての役割とアクションプランについて。特に田沼様、小林様の話は印象に残った。
- 田沼氏のCCの活動とACCの活動は特別大きな違いがないというのは共感
- 全てですが、ストリートスポーツへの支援もその対象に考えている事に、自分の視野の狭さを思い知った。
- キャリア教育が継続的必要性がある事が認識された
- アスリートはマルチタレントである。もっと言う一つの特徴的個性であると言うこと
- おなじACC認定のコーディネーターとして刺激を受けました。
- 大久保様のご発表。企業に動めるものとして、できること、考えられること
- 小林賢太郎さんの取組み姿勢。ACCのプログラム内でお聞きしたお話も含め、素晴らしいと思う。
- 実際のアスリートが現場でコーチングができる事や企業内の課題（閉塞性）とスポーツの世界と同等ならえてもっとオープンな世界にする必要があるのは今の日本の企業には不可欠だと思います。
- 目の前にいる選手にできることから支援しようとする元トップアスリート、キャリアコンサルタントとして目的意識をもって研鑽を積もうとする方、人脈形成を考える方とそれぞれの立場で動き始めようとしていること。
- できることを実践する。キャリアを閉ざさない。障害は特性、同質性、なければ自分がやる
- 田沼先生のアスリートをどう解釈し、CCとして個々はどう関わらるうとされているのか？力強く明快なお話をいただき、再度噛みしめて今後の活動に臨みたいと思いました。ありがとうございました。の筋にさせていただきます
- ACCがハブになれること、プロフェッショナルとしてできることがたくさんあることが励みになりました
- いつも近くにいる存在、伴奏者として関わる
- 小林様が仰っていた、人や予備が無いから子ども大人関係なく参加者に協力してもらいながら運営することの大変さからメジャーになることによる弊害。
- アスリートだけが特別な存在ではなく、すべての人がマルチタレントであるという考え方。
- 障害 = 特性 Be×Do = Have
- 自分がいなくても自分がしているキャリア支援や地域貢献、機会がまわっていく、続いていくような仕組みを作っていると感じて、私自身経営者として大変感じる部分がありました。
- それぞれ競技、そして田沼さんの、障害者支援～アスリートキャリア支援まで幅広くキャリア支援を担う方々の事例発表は、キャリア支援初級者の私にとって、貴重な「スーパーバイズ」の事例ばかりでとても参考になりました。早速出来ることから実践に移していければと思います。ありがとうございました。
- それぞれの人の具体的に行動されている意見が聞けて、感動しました。今後どう展開できるかわかりませんが、イメージが見えました。
- タノケン先生のファンリーダーは、もちろんであるが皆さんの取り組みへの姿勢が素晴らしい、勉強になりました。こんなような方々と一緒に、ディスカッションをして今後の取り組みを構築していきたいと感じました。
- 登壇者の方を含めたACCそれぞれがプロ意識とスペシャリストとして、身近なところから動いて地域社会と連携して発展させていくことの重要性。点にするACCを築く場や、業界の垣根を超えた連携、多様な社会におけるACCの役割など
- 「これからやる人よりもすでにやっている人」を招聘すべきかと、具体的な事業を話すべき。この会自体が毎年課題に感じてならない。
- 自分の強みを活かした具体的なアクションプランがとても参考になりました。
- 早い段階で職業人生を考えるきっかけが重要なこと。
- 現場に詳しい方と、キャリアやビジネスに詳しい方がタッグを組む重要性
- これからは同感で使命感ややりがいを感じています。コンソーシアムというハブという「知ってもらう」ロビー活動も兼ねた事業推進は必要だと思います。成長発展は大事です。アスリートで有名な方々もいっしょに無名の方々もいっしょにいます。すべて支援するにはまだまだです。
- 起業支援
- 指導者の越境
- 実際にアスリートだった方々、キャリアコンサルティングに従事させている方と幅広くアスリートキャリアコーディネーターがいっしょにやるのが理解できた。今回、お話いただいた内容を参考に、自分自身が提出させていただいた課題とアクションプランを読み返してみます。
- 具体的なプランを聞いた
- ボール一つで文化の違いも乗り越えられる
- スポーツの教育的意味。意味づけ、言語化の重要性
- 関心を持つ事からスタート
- アスリートキャリアコーディネーターの方の体験談
- 仕事で聴かせませんでした。
- 行動して形になっている方々が多くいることがわかった
- 丸山さんのまじぶり
- アスリートへの支援とアスリート以外の人への支援、考え方としては変わらない
- 登壇されたACCの方々のアクションプランが大変参考になりました。自分があまり意識していなかった気付きがありました。
- アスリートのキャリア支援には、ひろい人脈、つながりをひろめることなど、活動、役割についてのお話が印象に残りました。
- 実際のアスリート経験者の体験
- 閉じた社会、誰でもいっしょに話を聞いて。出来たら同じスポーツ業界以外の人に話聞いてほしい。。同じ業界の人だと大体答えは想像がつく。などなど。
- 指導者の越境も課題で、HUBの存在が必要であると

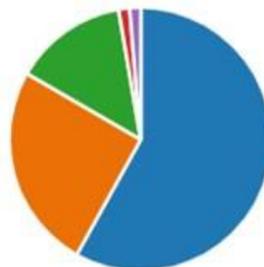
# アンケート結果（ACCカンファレンス）

20. アスリートキャリアコーディネーター育成プログラムを受講したいと思いますか。

[詳細](#)

💡 Insights

● 大いにそう思う	129
● ややそう思う	56
● どちらともいえない	31
● あまりそう思わない	3
● 全くそう思わない	3

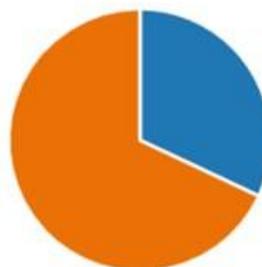


21. スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）について知っていましたか。

[詳細](#)

💡 Insights

● 今回初めて知った	71
● 以前から知っていた	151



22. （企業・団体様向けのご質問）スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）への加盟を希望、もしくは興味がありますか。

[詳細](#)

💡 Insights

● 希望する	14
● 興味がある	34
● 希望しない	173



※問23~27はSCSC加盟に興味がある方へご案内するための質問（お名前やメールアドレス等）であるため割愛。

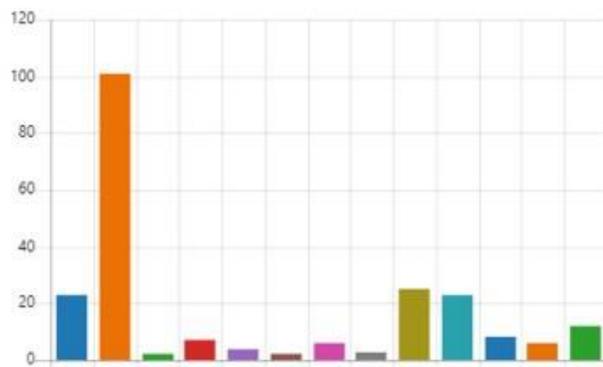
# アンケート結果（ACCカンファレンス）

## 28. このカンファレンスの情報をどこで知りましたか？

詳細

Insights

● SCSC会員として事務局からの告知	23
● ACC受講生として事務局からの告知	101
● SCSCのHP	2
● SCSCのFacebook	7
● SCSC会員の紹介	4
● アスリートキャリアコーディネーターが...	2
● スポーツ庁のHP	6
● スポーツ庁のFacebook又はTwitter	3
● NPO法人キャリアコンサルティング...	25
● NPO法人 キャリアカウンセリング...	23
● 登壇者のSNS・紹介	8
● プレスリリース・その他メディア掲載...	6
● その他	12



# アンケート結果（ACCカンファレンス）

## その他、ご意見・ご感想等あればご自由にお書きください。

- ・ 中高生からキャリアを考えていくことに大切さを感じます。そのやり方、難しいですが関わってきたい。
- ・ "所属団体としてのSCSCの加盟への興味関心は、小生個人の一存で動くことができない旨、ご理解ください。個人的には大いに興味はございます。個人としてキャリアコンサルタントの資格を保有しておりACCからの案内で今回の取り組みを知りました。アスリートというある種メディアでの取り扱いも大きい存在であることを切り口に「キャリアコンサルタント」そのものに関しての正しい認知や取り組みにもつながっていくことに大いに期待しており、少しでも力になればと思います。"
- ・ ACCの存在を、多方面に広く告知していきたい
- ・ アスリートキャリアコーディネータとして、スタートを上げる環境を整えたいと考えました。また、ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。
- ・ "全体的にも大変有意義なイベントでした。ACCとしてアスリートと関わり、地域、学校、企業との橋渡しに貢献できればと考えております。引き続き、よろしく願いいたします。"
- ・ 大変参考になりました。
- ・ "アスリートの方とキャリア相談を継続するために、接点が必要ですね。今後どのような接点機会の企画が展開されるかわかりませんが五郎丸さんがおっしゃったようにオンラインなどは今の時代にあったやり方のようにも思いました。以上です。"
- ・ 早く対面で開催され、いろいろな方と直接 お話できるとよいですね。
- ・ トップアスリート、企業、ACCと豊富なトークセッションが良かった。次回は融合させたトークセッションも聞いてみたい。また、3時間は長いと思っていたが、非常に有意義な時間だった。この機会を私自身が次に活かしたいと考えました。
- ・ 動き始めたばかりとはいえ、全体の動きや進捗が見えにくい面があります。SCSCのホームページを適宜見ればよいのでしょうか、ACC対象メルマガがあればありがたいと思います。詳しく見ていないのですが、資格取得者対象の広場のようなものがHP内にあったと思いますが、そこに登録するともう少し動きが見えるのでしょうか？ 目の前にアスリートがいる環境ではありませんので、日常にまぎれて忘れてしまいがちです。このようなイベントはそういう意味でもありがたいと思います。"
- ・ "トップアスリートから企業の方、ACCまで幅広く多くの視点からリアルな考えを聴くことができ、とても有意義な時間でした。自分ができることを掴むきっかけになりました。支援を必要としているアスリートに届くといいと思います。キャリアセンターの開設も楽しみです。zoomで地方からでも参加できるのはありがたいです。ありがとうございました。"
- ・ ありがとうございます。アスリートの世界観が学べました。
- ・ "スポーツキャリアサポートコンソーシアム担当者様お初にお目にかかります。株式会社フオアリスの長谷川と申します。この度はこのような機会をいただき誠にありがとうございました。現役、引退後の選手から社会に出られた方のキャリアに対する考えのお話やそれを支える企業、団体の方のお話など非常に勉強になる機会でした。自社の採用においてスポーツキャリアのある方採用したいと考えているのと、そのサポートを弊社を使ってもらってご協力出来ないかなどお話を聞いて非常に様々な考えを巡らせます。改めてこの度はありがとうございました。"
- ・ "ACCとして参加いたしました。今後の展開、楽しみにしております。是非ご協力させてください。"
- ・ "ACCの認定のためのレポートを全員分を色々な方がご覧されていると拝聴し、驚きと嬉しさ、そして少し恥ずかしさがあります。幼い頃からスポーツが好きでしたが、体が大変弱く、海外住むための体力づくりとして社会人から本格的にスポーツを始めました。父が元アスリート、大叔父がオリンピックや国立の体育大学の誘致に携っていたので、私もいつかアスリート支援をしたいと長く考えていました。その為、このような機会は、本当に感謝しております。 本当の事を申すと、今日のカンファレンスに参加するまでは、アスリート出身者ではない私が、実際何が出来るのだろうと不安に思っていました。しかしカンファレンスの中で、キャリアが閉ざされた時に次のキャリアを考える時に不安があるという話が出た際、私も語学のキャリアが閉ざされ、将来に絶望していた時期があったこと、その後、社会保険労務士、キャリアコンサルタント、経営者としてここまで歩めているのはたくさんの方々の支援があったことを再認識しました。カンファレンスの言葉がきっかけとなり、今後さらに自己研鑽し、アスリートの皆様へ還元し、そしてともに成長できる人間になりたいという目標ができました。ありがとうございました。"
- ・ "スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）への加盟については、公立大学法人としての判断が必要になるので、末端の担当者としては、回答できず申し訳ありません。トップアスリート、現役から引退直後～キャリア支援者まで幅広い知見を共有していただいた機会を設けていただきありがとうございます。 日ごろ、一般学生のキャリア形成支援の傍らで、小規模でほぼ「1on1」でアスリート支援をさせて頂いています私にとって、なかなかスーパーバイズを求める機会・知見を広げる機会がありませんでした。 キャリアコンサルタントの一員として、なんとか、寄り添い・伴走型のアスリートキャリア創造支援に微力を尽くしていきたいとおもえました。スポーツ庁、今回のイベントを開催して下さった関係者各位に改めて敬意を表しつつ。"
- ・ テーマに対して、皆さん素直な意見を明確に発言されている所が、かっこよく、聞きやすく、感動しました。進行や、コーディネーターの方も、場の作り方が一体となっていてとても良かったです。
- ・ 本日は、ありがとうございました。色々な立場からの話が聞けてとてもよかったです。行政機関でのキャリア支援を行うことは、非常にやりにくいために、この4月からは、無所属でキャリア支援を行うことにしました。◆早速、多くにアスリートを育て輩出している大学に、SCSCのごとACCのことを説明にあがり、すぐ関心をもって頂きました。アスリート採用のものや大学の4年間で故障をしまったり、心身的な事情で 進路変更を行っている学生がおおいるとのことなので、タケノ先生がいつも掲げている「キャリア オーナーシップ」を早い段階から学んでもらった方がよいねとのことになりました。◆4月には、具体的なプランをプレゼンしていくことになります。この度の、SCSCのセミナーや動画の案内を始め、活用して頂けるように準備を整えるきっかけになりました。 本日の企画・運営、ご登壇者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。
- ・ 貴重なカンファレンス開催をありがとうございます。運営スタッフの皆様も大変おつかれさまでございました。
- ・ SCSCの発展の方に必要であれば協力します。
- ・ ありがとうございます。勉強になりました。できる限り活動の活性化に協力したいと思います。
- ・ もうコーディネーターとして登録させていただいております。本日はありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。
- ・ キャリアセンター設置との事ですが全国展開をされるのでしょうか。
- ・ 大いに有意義でした。ありがとうございます。
- ・ アスリートのCXへの挑戦について多岐にわたるプレス発表・トークセッションをありがとうございます。現時点でアスリートの方々のキャリア支援は行っていませんが、今後支援を行う機会をいただければ、今回学ばせていただいたことを参考にさせていただきます。支援を行います。ありがとうございます。
- ・ ACCの資格取得はどうすればよいでしょうか？
- ・ "私も剣道の実業団選手からセカンドキャリアとしてメンタルサポートの会社を立ち上げました。その中で自身の体験、現役アスリートの現状などから、キャリア支援の重要性を感じてアスリートのサポートを行っています。今回は、いろんな角度からの話を聴くことができ非常に参考になりました。"
- ・ オンラインでの運営が良かった
- ・ プレス発表で使用された資料をHPなどで拝見できるとありがたいです。
- ・ 個人的にはアスリート向けのキャリア支援に興味はありますが、現職では当社での導入は難しいと感じています。
- ・ "参加させて頂き有難うございました。強靱な体力スポーツの選手の間でも、悩みを抱え、時には繊細な感性を持って悩んでいる、そして弱みも閉じた仲間社会では本音では将来のキャリアを語り合えないかもしれない。など。現役のスポーツに集中しながら、将来の展開を考えつつ可能性を考えていく、そして別の世界の人達と相談できる、そしてそれをスポーツ仲間達も良しとする環境作り、これがもしかして一番安心して現役のスポーツに集中することができる、に繋がるかもしれません。トークセッションごとのアンケート記入はちょっと難しかったです。思ったことを自由に記入の方がやりやすいかもしれません。（どのトークセッションの内容だったか細かくは、覚えていない為。）"
- ・ 大変興味深い内容のセミナーでした。ありがとうございます。

# 参加者、視聴者について

# 参加者について

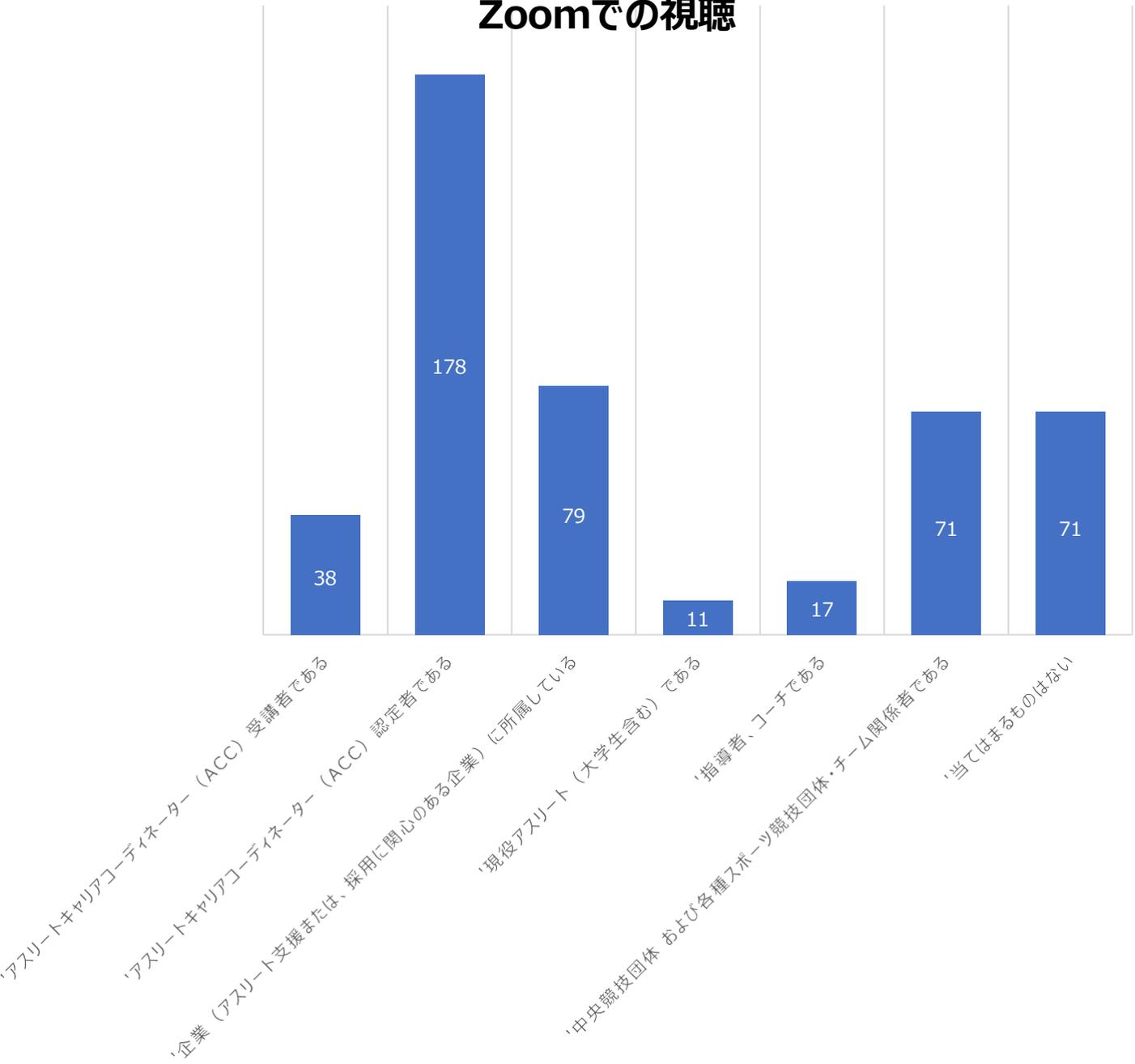
## Athlete Career Challenge カンファレンス2022

項目	定義	人数
【お申込について】		
お申込者 (Zoom)	PASS MARKET経由で研修にzoomでの参加でのお申し込みがあった人数	387名
お申込者 (YouTube)	PASS MARKET経由で研修にYouTubeでの視聴でのお申し込みがあった人数	338名
【当日のライブ配信視聴者について】		
当日視聴者 (zoom)	当日にzoomで参加した方の総数	373名
当日視聴者 (YouTube)	当日にYouTubeで視聴した方の数（同時最大視聴者数）	191名
【アーカイブ配信について】		
アーカイブ視聴者 (YouTube)	アーカイブ配信の視聴数（※2022年3月22日時点）	1,616回
ユニーク視聴者数	視聴した方の総数	980名
リピーター	2回以上視聴しにサイトを訪れた方の総数	252名
チャンネル登録者 増加数	本カンファレンスがきっかけでチャンネル登録をした方	47名

## メディア関係

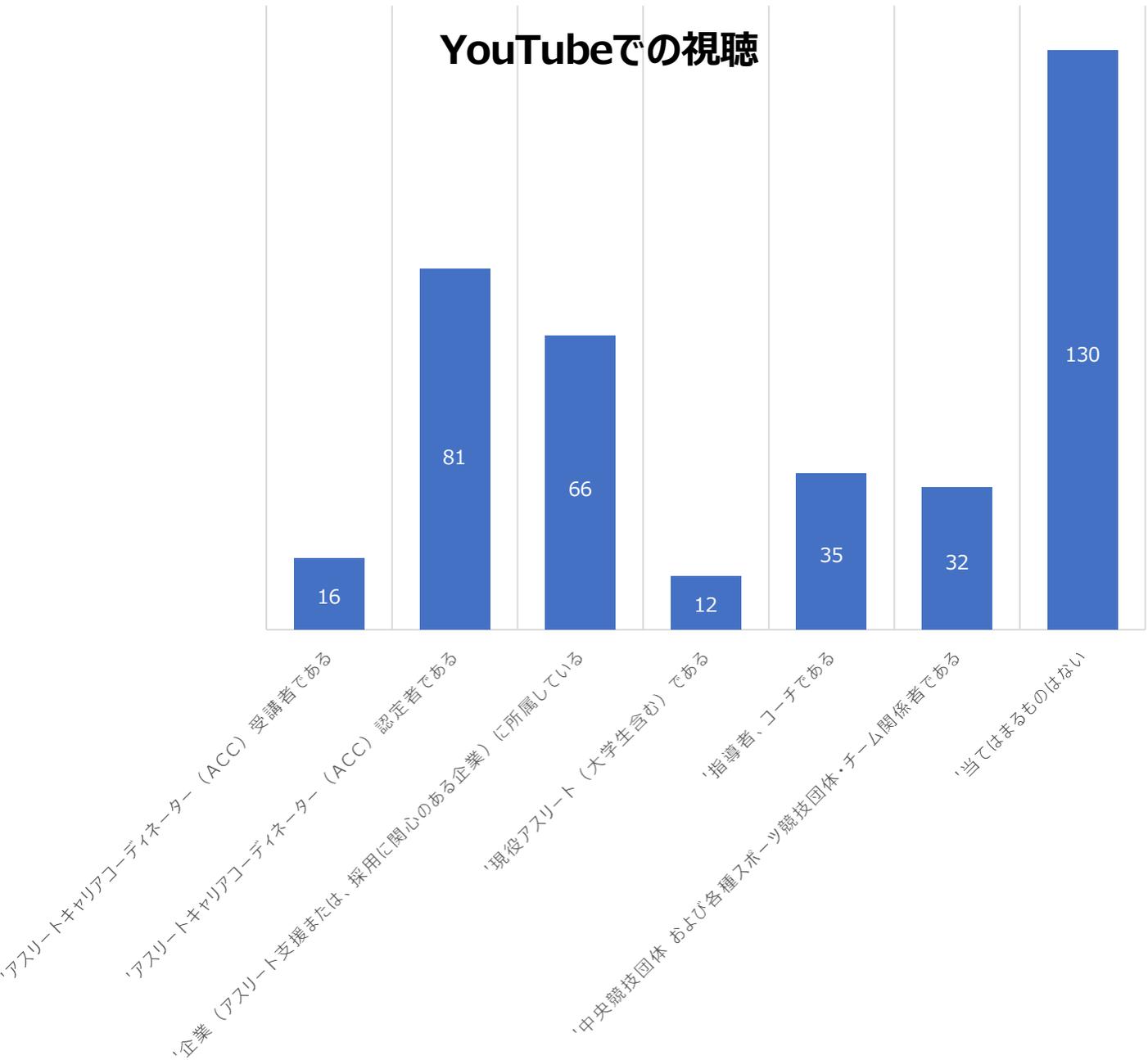
項目	定義	人数
現地取材メディア	会場に会場し取材を行ったメディア数	1社
Online Press 参加メディア	オンラインにてカンファレンスの様子取材したメディア数	7社
クリッピング結果	ACCカンファレンス2022に関する記事を掲載したメディア数	30社

## Zoomでの視聴



# 参加者について

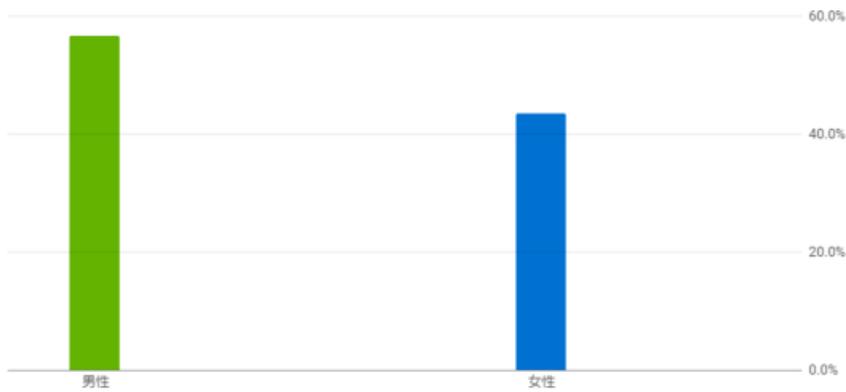
## YouTubeでの視聴



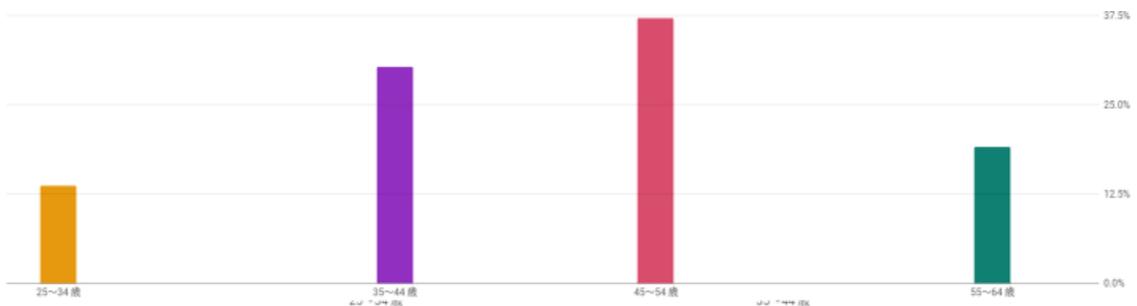
項目	目標	結果 (合計)
現役アスリート	100	23
指導者	50	52
NF、競技団体、チーム関係者	20	103
企業	30	145

4つの目標のうち3つの項目について達成した。アスリートの参加が少なかったのは、土曜日での開催であることでトレーニングや試合の日程と重なってしまったことが原因であると推測される。

# 視聴者について



視聴者の性別 ↓	視聴回数	平均視聴時間	平均再生率 (%)	総再生時間 (時間)
<input type="checkbox"/> 女性	43.5%	49:53	25.4%	51.1%
<input type="checkbox"/> 男性	56.5%	36:41	18.7%	48.9%



視聴者の年齢 ↓	視聴回数	平均視聴時間	平均再生率 (%)	総再生時間 (時間)
<input type="checkbox"/> 13~17歳	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 18~24歳	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 25~34歳	13.6%	42:41	21.7%	12.8%
<input type="checkbox"/> 35~44歳	30.3%	40:30	20.6%	26.9%
<input type="checkbox"/> 45~54歳	37.1%	50:48	25.8%	41.3%
<input type="checkbox"/> 55~64歳	19.1%	45:24	23.1%	19.0%
<input type="checkbox"/> 65歳以上	-	-	-	-

トラフィックソース	視聴回数 ↓
<input type="checkbox"/> 合計	1,616
<input type="checkbox"/> 直接、または不明	501 31.0%
<input type="checkbox"/> 外部	452 28.0%
<input type="checkbox"/> ブラウジング機能	238 14.7%
<input type="checkbox"/> YouTube 検索	145 9.0%
<input type="checkbox"/> 関連動画	140 8.7%
<input type="checkbox"/> チャンネルページ	72 4.5%
<input type="checkbox"/> その他のYouTube 機能	44 2.7%
<input type="checkbox"/> 通知	23 1.4%
<input type="checkbox"/> 再生リスト	-

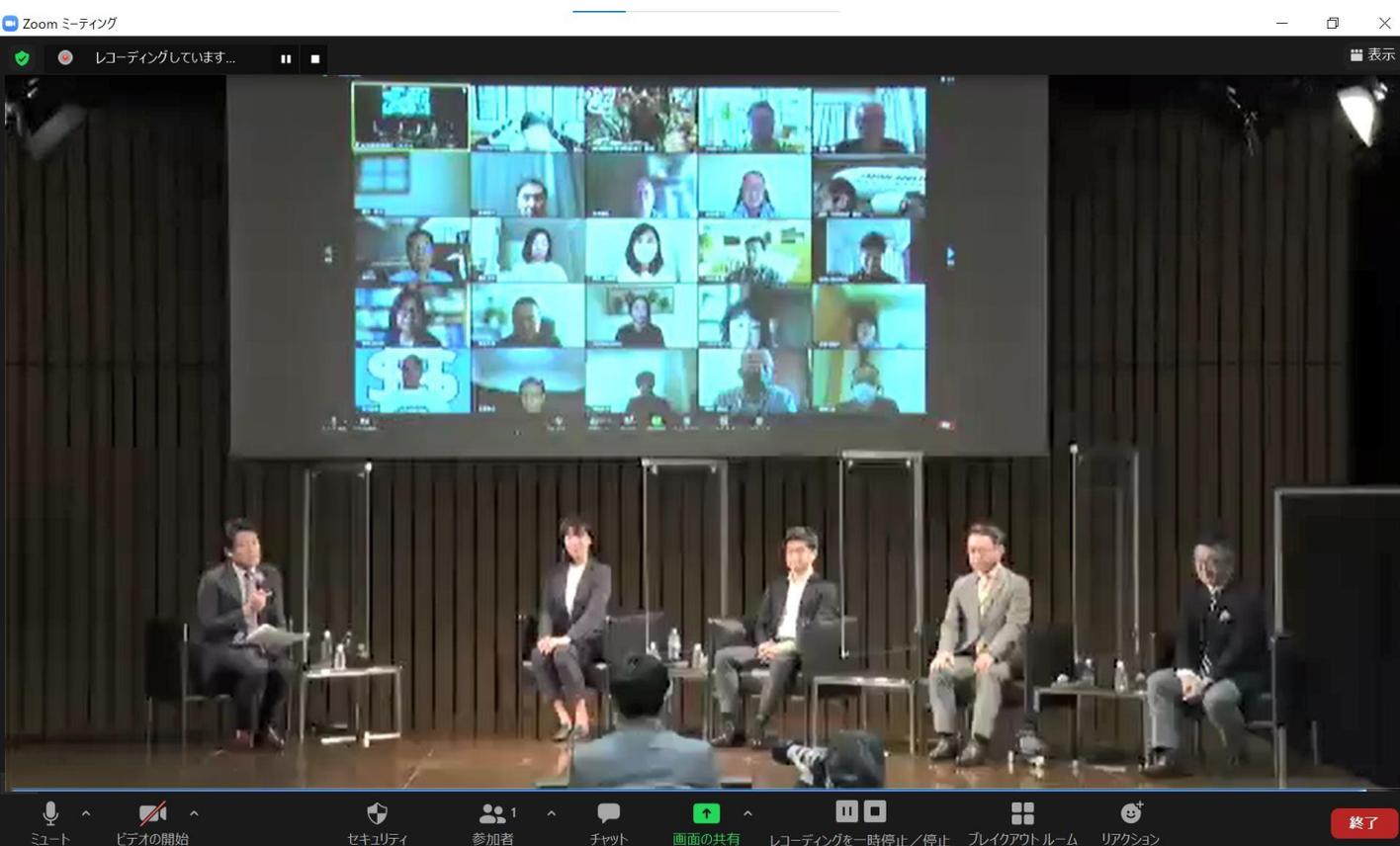
トラフィックソース > 外部	視聴回数 ↓
<input type="checkbox"/> 合計	452
<input type="checkbox"/> Facebook	196 43.4%
<input type="checkbox"/> Twitter	76 16.8%
<input type="checkbox"/> Gmail	41 9.1%
<input type="checkbox"/> Google Search	30 6.6%
<input type="checkbox"/> Yahoo Mail	29 6.4%
<input type="checkbox"/> Naver	23 5.1%
<input type="checkbox"/> Instagram.com	8 1.8%
<input type="checkbox"/> Yahoo Search	7 1.6%
<input type="checkbox"/> jp.co.yahoo.android.yttop	3 0.7%
<input type="checkbox"/> YouTube	2 0.4%
<input type="checkbox"/> bing.com	2 0.4%
<input type="checkbox"/> com.huawei.android.launcher	1 0.2%
<input type="checkbox"/> cybozu.com	1 0.2%
<input type="checkbox"/> jp.co.nttdocomo.carriermail	1 0.2%
<input type="checkbox"/> jp.co.sharp.android.launcher3	1 0.2%
<input type="checkbox"/> jp.co.yahoo.android.ymail	1 0.2%
<input type="checkbox"/> mext.go.jp	1 0.2%

外部からの流入については、フェイスブックページからの流入が多かった。こちらはSCSCのフェイスブックページからアクセスした人が多かったことが推測される。

# YouTubeでの配信



(YouTubeの様子)



(Zoomの様子)

# 総括

## 【当日までの準備について】

- ポスターの制作や広報・申込サイトの構築、PR TIMESへの掲載などについてはスポーツキャリアサポートコンソーシアム様と連携し、納品することができた。
- 参加者の申し込みについて、Zoomでの参加が387名（当日受講者は373名）、YouTubeでの視聴申込者は338名（ライブ視聴者は191名）であった。現役アスリートの申込者は23名、指導者は52名、NF等関係者は103名、企業関係者は145名であった。現役アスリートの参加が少なかったのは、土曜日での開催であることでトレーニングや試合の日程と重なってしまったことが要因であると推測される。現役アスリートにライブで視聴してもらうためには、開催日時（曜日と時間）の検討が必要だと考える。
- 受講者より案内メールが届かない旨の問い合わせが5件ほどあったが、受講者へのメール再送等の迅速な対応をしたことで、当日の問い合わせを最小限に抑えることができた。

## 【当日の運営について】

- 当日の受付での検温や消毒、マスク着用の徹底、メディア関係者、コンソーシアム関係者の把握など新型コロナウイルス感染症の対策を万全にしスムーズに進行できた。感染症対策についてメディアからスタッフへ、当日の問い合わせ等は無かった。

## 【進行、各プログラムに関して】

- 全体の進行時間については、登壇者の方々も注意して時間をキープしていただいたことから、各プログラムともほぼ予定通りに進行することができた。登壇者との準備は、個々にご説明、当日の直前ミーティングで、しっかりと事前準備・共有できたことが大きい。
- カンファレンスではスポーツ庁YouTube配信やZoomでの配信を音声トラブルや映像の乱れなどなく、スムーズに実施することができた。手話通訳を入れるというオーダーについてもしっかり対応し、配信することができ、視聴者アンケートにも配信に関してポジティブな意見が多くみられた。